

第3章

公共施設等整備の考え方と財政計画

I まちづくりの現況・将来像

地域の成り立ちや現在の土地利用、市街地整備の動向などまちの特性を踏まえたエリアを設定し、地区ごとの個性を活かしながら区全体の魅力や価値の向上につながるまちづくりを進めていきます。

- ① すみだ北部エリアでは、歴史・文化を育みながら、市街地整備を通じた新たな魅力や交流を生み出す場づくりや、安全性高いまちなみを形成し、快適でうるおいのある市街地環境



づくりを進めます。鐘ヶ淵通り(補助120号線)の拡幅整備や東武伊勢崎線の立体化を進め、地域の防災力の向上を図ります。

曳舟駅周辺地区では、北部地域の広域拠点として、駅前交通広場の整備や再開発事業によるまちづくりを進めていきます。また、病院移転等貸付地として旧立花中学校跡地を活用します。さらに、千葉大学・情報経営イノベーション専門職大学と連携し、地域課題解決を目的とした公民学連携組織「アーバンデザインセンターすみだ(UDCすみだ)」の設立を機に、地域経済の活性化や地域の賑わい創出など大学のあるまちづくりを進めていきます。



大学のあるまちづくりイメージ

- ② すみだ中央部エリアでは、歴史・文化と新たな都市空間が融合した観光交流の拠点として、隅田川・北十間川のつながりを活かした回遊性の高い交流空間づくりにより、すみだの顔にふさわしい市街地環境づくりを進めます。

とうきょうスカイツリー駅周辺においては、鉄道の高架化や道路等の都市基盤整備を契機に、南北市街地の一体化や高架下利用を見据えた魅力あるまちを形成します。



押上駅北口交通広場イメージ



東武伊勢崎線第2号踏切高架化後イメージ

③すみだ南部エリアでは、市街地の更新を通じ、歴史・文化を守り育みつつ、魅力あるスポットや都市基盤を活かした回遊性の高い市街地環境づくりを進めます。

区民の健康づくりや母子保健、災害医療体制の拠点となる新保健施設等の整備を着実に進めるとともに、新たな企業の誘致や区内企業・地域との連携促進を図るため、「産業振興を通じたまちづくり」に寄与するための機能を含む施設を整備します。また、臨海部から錦糸町・押上へのアクセス向上や、東京都東部への産業・観光振興につながる地下鉄8号線開通の早期実現に向けた取り組みを進めていきます。



新保健施設等複合施設イメージ



錦糸土木事務所跡地を活用した産業集積施設イメージ

④隅田川沿川エリアでは、隅田川の歴史・文化やみどりを育み、人々が集い交流する場づくりや、沿川の市街地と水辺の連続性、一体性の感じられる市街地環境づくりを進めます。

隅田公園の南側整備で生まれた賑わいを、公園北側に波及させ、公園の更なる価値の向上を図るとともに、両国地区と吾妻橋地区を結ぶ隅田川沿川まちづくりを進め、賑わいの連続性の創出や親水性の向上を図ります。



隅田公園



両国リバーセンター

■地区区分

